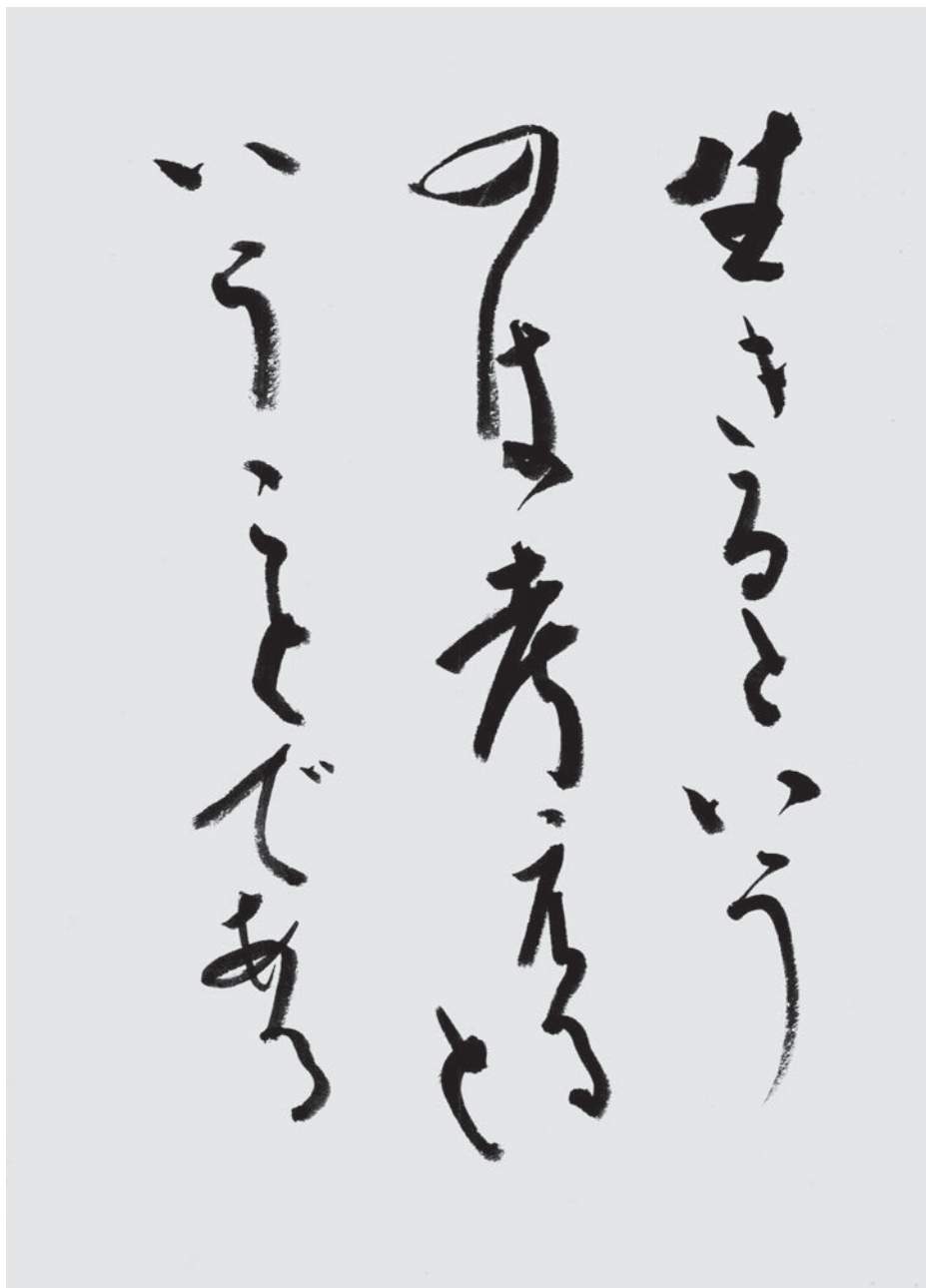


調和体を書く(9)

締切り 九月二十五日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の<sup>しんわよう</sup>新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

生きるというのは  
考えるということである

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は、作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

※印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

# 一般部規定課題

締切り 9月25日(必着)

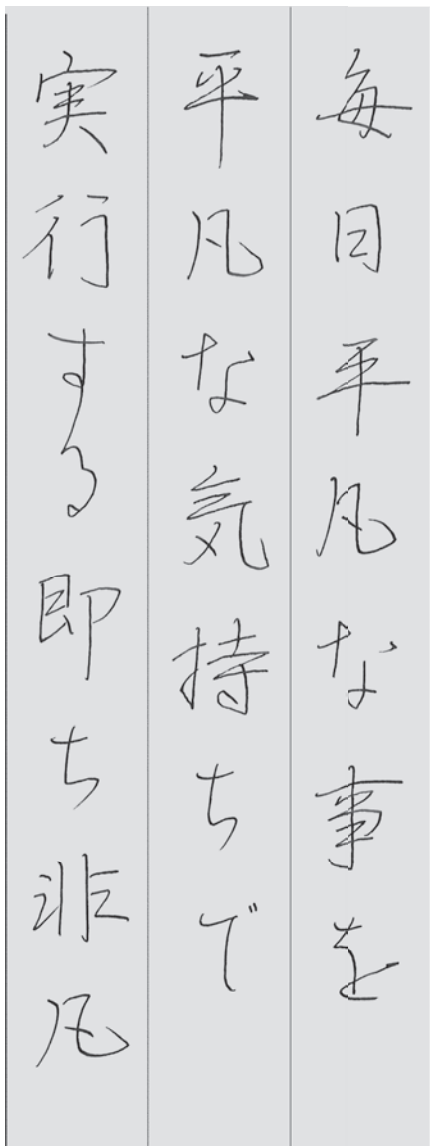
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。  
 ◎今月は行書です。行書は厳密な形式から離れ、迅速に書く為に角をやわらげ、自然に変化を取り入れます。同じ字は少々形を変化させるとよい。

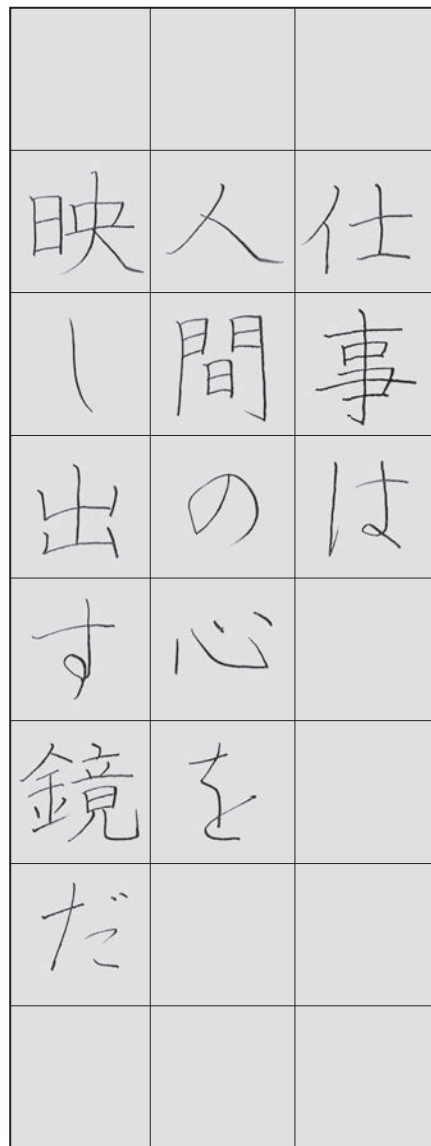


おか だ りゅう ほう 書  
 岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書  
 大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆10月課題予告(楷書)  
 己惚れは常に  
 他人の称賛により  
 強められる  
 ▼教範・書範は行草または草書  
 ▼師範は行書

★毎日…(書体は行書)  
 アンドレ・ジッド(二八六九一九五)  
 フランスの作家  
 世の中には、毎日が同じことの繰り返しで退屈なことが多くあります。  
 生活とはそのような地道な積み重ねであり、忍耐強く平凡なことをコツコツ実行し続けてこそ、発明、発見や人間の成長、社会の発展もあるのではないのでしょうか。

◆10月課題予告(行書)  
 自分を熱愛し  
 自分を大切にせよ  
 志賀直哉

★仕事は…(書体は楷書)  
 マイケル・E・ガーバー(二八六九)  
 アメリカの起業家  
 どんな仕事でも嫌々やっていたら、心身にもよくないし、出来上がりもよくありません。逆に気分よく行えば楽しく、必ず結果に反映するものです。  
 自分から進んでこなしていくと新たな発見があったり、その人の人格の良さが表れたりすることでしょう。

# 一般部かな課題

締切り 9月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

秋風や鼠のこかす杖の音

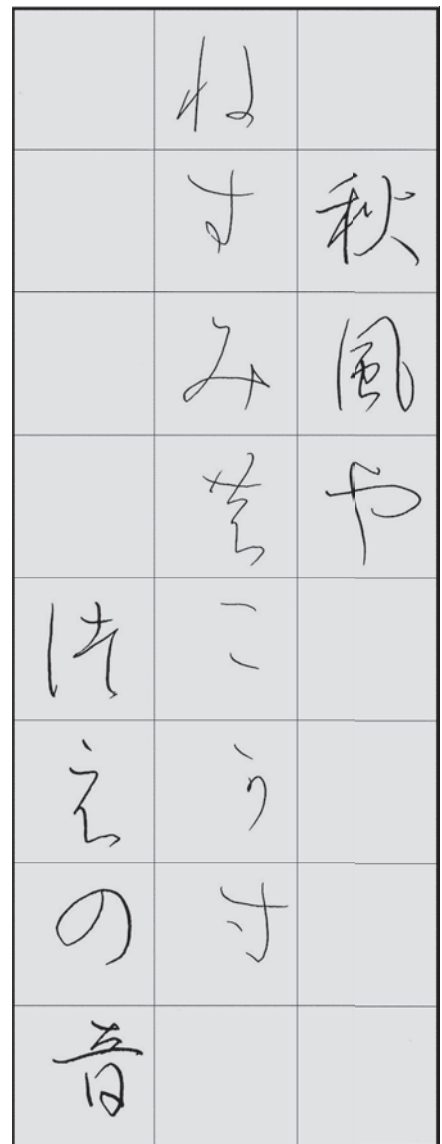


た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

秋風や鼠のこかす杖の音



た なか き こう 書  
田 中 貴 光

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆10月課題予告  
月の夜や石に出て鳴くきりぎりす  
(千代女)

耶 須 農 春 徒  
秋風や鼠のこかす杖の音

秋風や鼠のこかす杖の音  
(稲津祇空)

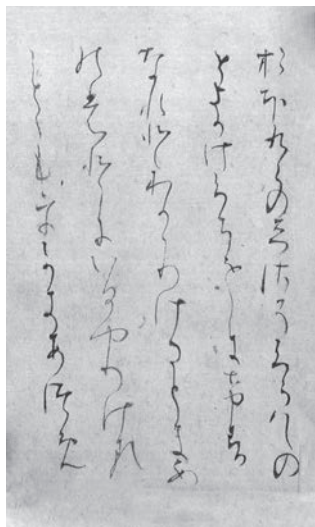
【句解】夜の闇の中。草庵の外では、秋風が吹き続けている。屋内では鼠が活動を始めたようだ。突然、棒の倒れる音。あれは鼠が杖にぶつかったのだな。みずからのたてた音に鼠は逃げ去り、屋内はもとの静寂にもどる。

【鑑賞】鼠が杖を倒してその音に逃げる姿を、闇の中で想像して微笑している心持ちが「こかす」という言葉には感じられる。

【古筆参考】

〔古筆参考〕

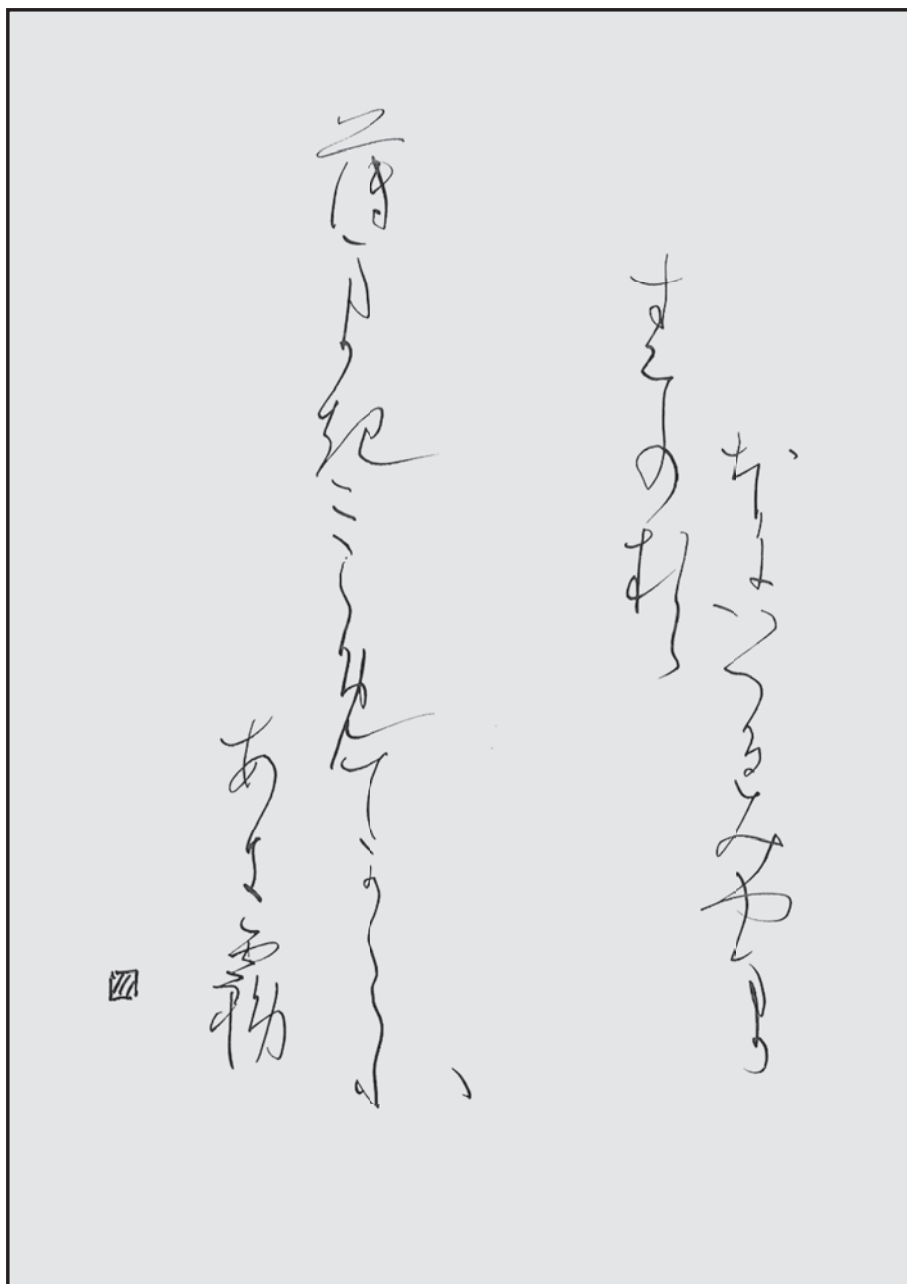
いち じょう せつ しょうしゅう  
一条 摂政 集



於本九  
おほくら志佐のしさう八くらはしの  
とよ可かげ、くちをし支希きげす  
なれど登、わか可利りけると支き、女  
能能登登尔尔日日利利類類  
のもとにひやりける  
こと乎どもをか可支きあ徒免つめ

締切り 九月二十五日（必着）

築瀬舟香書

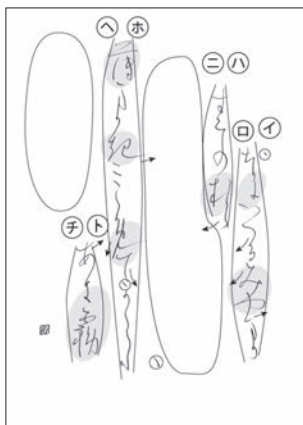


穂本に出出づるみ山や万可がすそのむら薄  
籬万可起二免にこめてかこふ秋霧  
籬可にこめてかこふ秋霧

〔歌意〕 高く穂を出しているみ山の裾すその群薄を秋霧が籬で囲うように包みこんでいるよ。

〔出典〕 山家集（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ・ ①と㊦、①と㊧、①と㊨、①と㊩、①と㊪、①と㊫、①と㊬、それぞれ呼応。
- ・ ㊭と㊮の間の余白大切、後上部の余白大切。
- ・ 行の中の密、指向性、①の位置大切。

◆10月課題予告

秋立つと人は告げねど知られけり  
み山のすその風のけしきに

締切り 9月25日(必着)

デザイナーから表紙のデザイン案が届きました。二者択一ですが選びかねており、この際関係者全員の意見を参考にしたいと思います。ご検討の上、選択の理由も添えてご返信賜りたくお願い致します。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

デザイナーから表紙のデザイン案が届きました。二者択一ですが選びかねており、この際関係者全員の意見を参考にしたいと思います。ご検討の上、選択の理由も添えてご返信賜りたくお願い致します。

横 書 き 課 題

お 郷 すい こう  
尾 郷 翠 光 書

日本のカラーテレビ放送は、昭和  
35年9月10日に開始された。

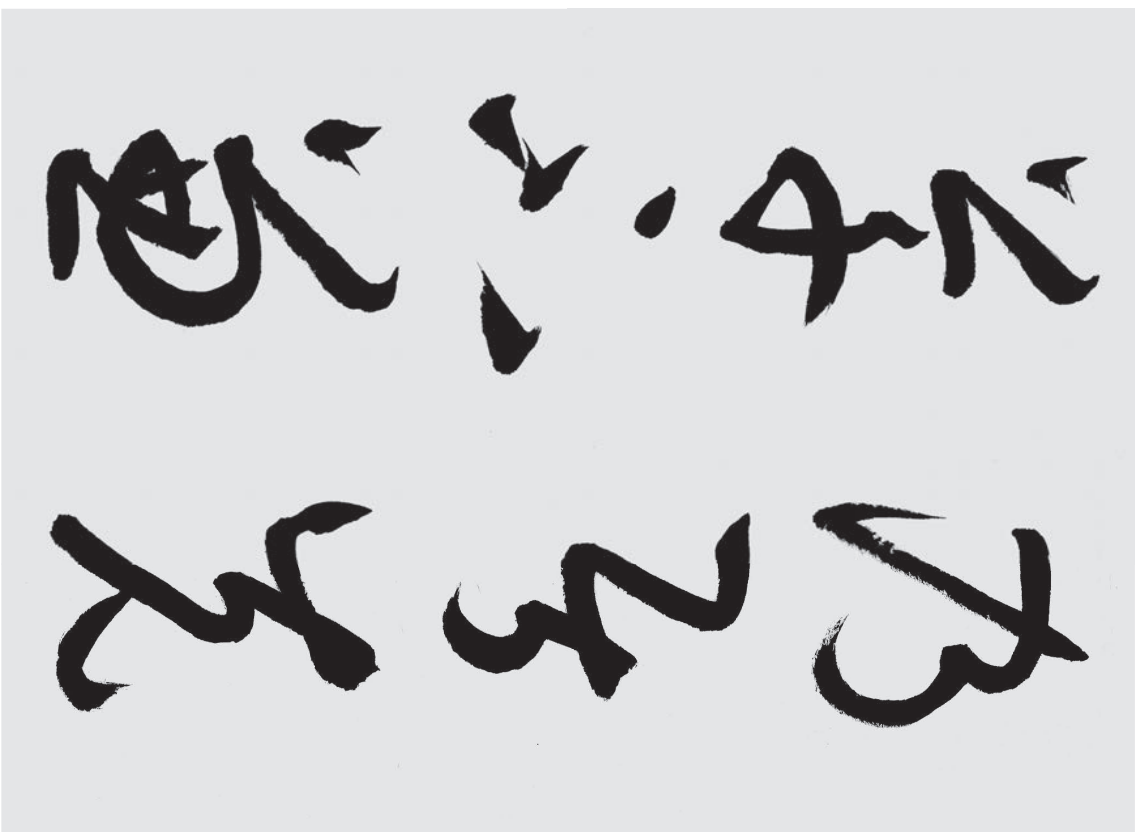
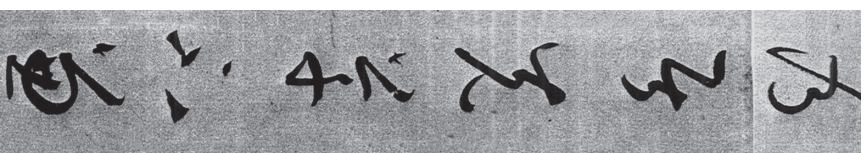
奈良県生駒市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。



# 一般部毛筆漢字課題

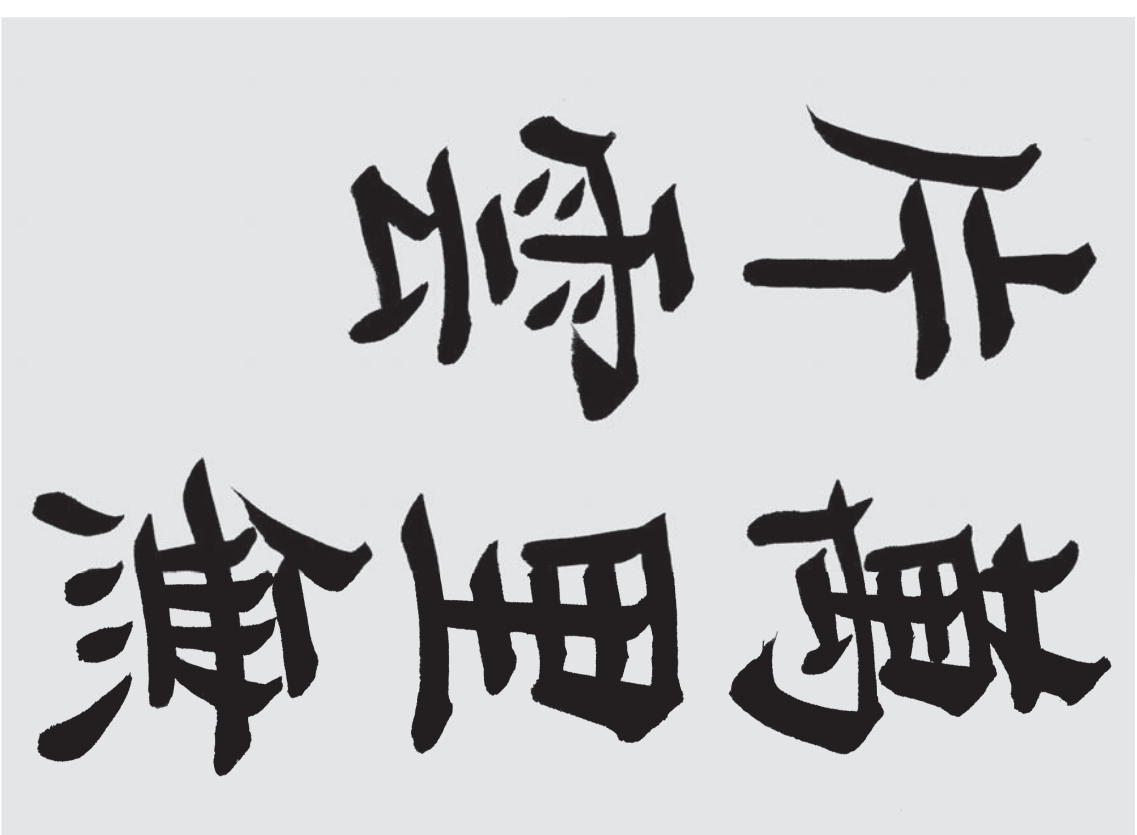
締切り 9月25日(必着)



〔出典〕 書譜（687） 〔筆者〕 孫過庭（648？～703？）  
 〔読み〕 乃ち先に居る。草のみにて（真を）兼ねずんば、

準初段から師範まで

奥村暢之 臨



新入から1級まで（楷書）

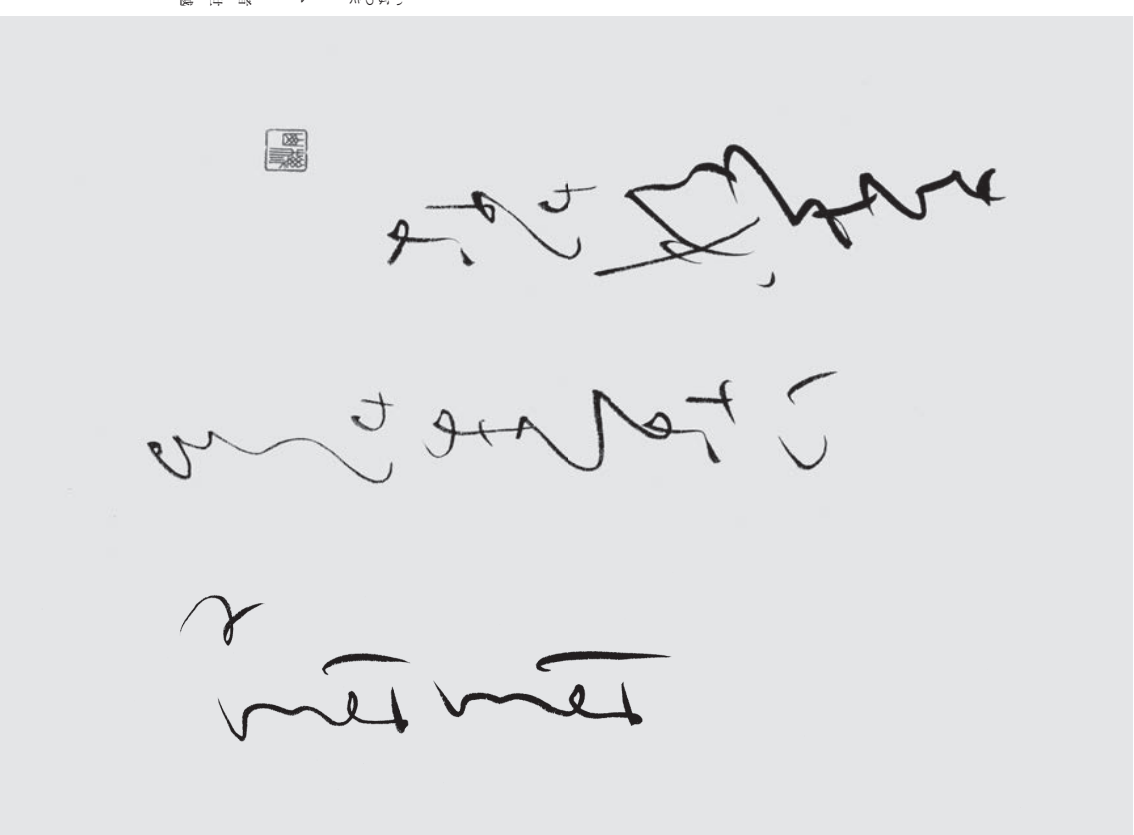
須田一葉 書

〔読み〕 万里片雲無し  
 〔大意〕 雲一つなく澄み渡る秋の空。心も広くなるようだ。

# 一般部毛筆かな課題

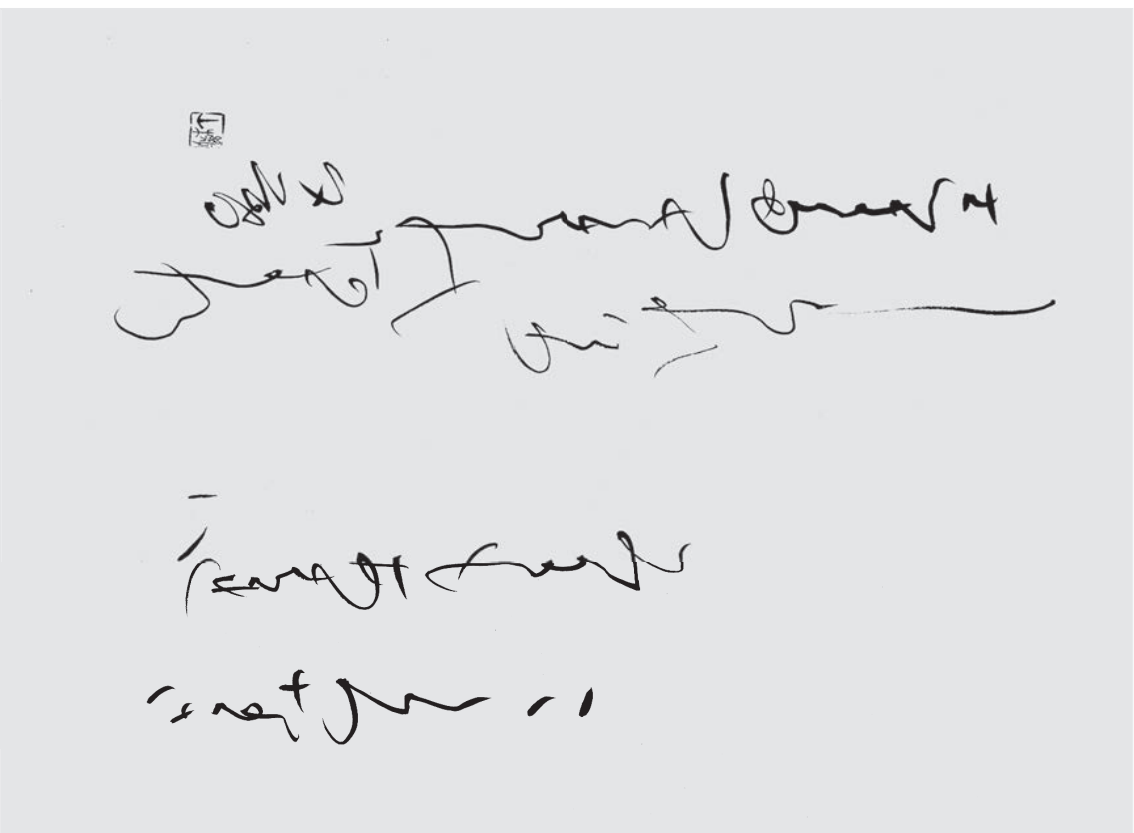
締切り 9月25日(必着)

新入から1級まで



浅井機機 山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

はらはらと稲妻かゝるばせをかな

心なき身にもあはれは知られけり  
 鴨立つ涙の秋の夕暮

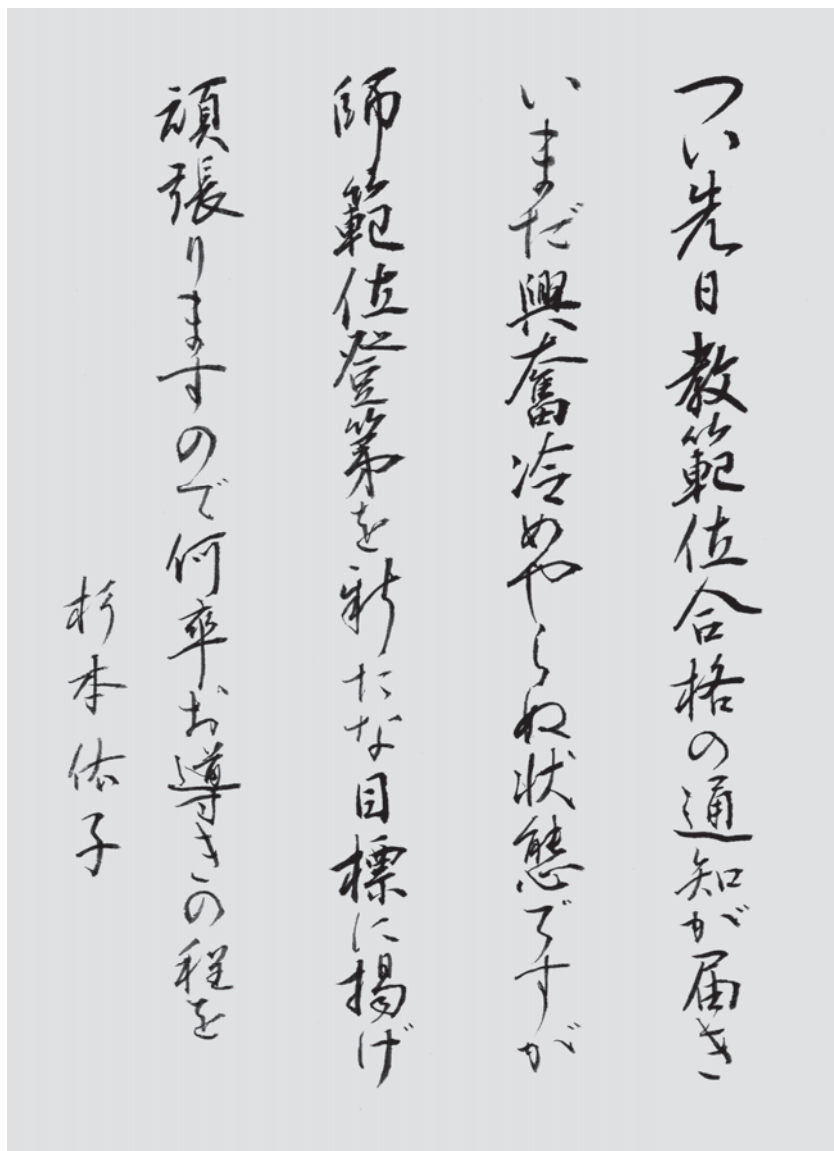
〔出典〕 西行

〔歌意〕 出家した、心なき身にも、あわれは心に沁みてよくわかる。鴨が飛び立つ涙の、この秋の夕暮れのあわれさよ。

〔出典〕 栗田椿堂

〔句意〕 秋の夜空にしきりに稲妻が走る。大きな芭蕉の葉にその光がふりかかるようだ、の意。

## 一般部毛筆細字課題



半紙 (334mm × 240mm)

樋田玲華 書

## 一般部毛筆条幅課題



締切り 九月二十五日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

萩田蒼仙 書

東湖仲夏草樹荒  
屋古無人亭午涼  
〔大意〕夏の東湖に草樹が掩い古びた庵には人氣も少なく日中でも涼しい。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・  
姓名・毛筆漢字成績  
を、作品左下に必ず  
お書き下さい。

〔条幅解説〕吊り下げて見ていると、思いがけない欠点が見つかるもの。それを、そんな暇はないと、どんどん枚数を重ねる人と、そうでない人との上達の差は大きい。思索の上、更に優れた方に見て(批評)頂けたら最高の勉強法です。枚数と年齢を重ねるだけでは上達出来ない。人生はよりよき人との出会いがキーポイント。わかつちやいるけど……なかなか……。

つい先日教範位合格の通知が届き  
いまだ興奮冷めやらぬ状態ですが  
師範位登第を新たな目標に掲げ  
頑張りますので何卒お導きの程を

(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

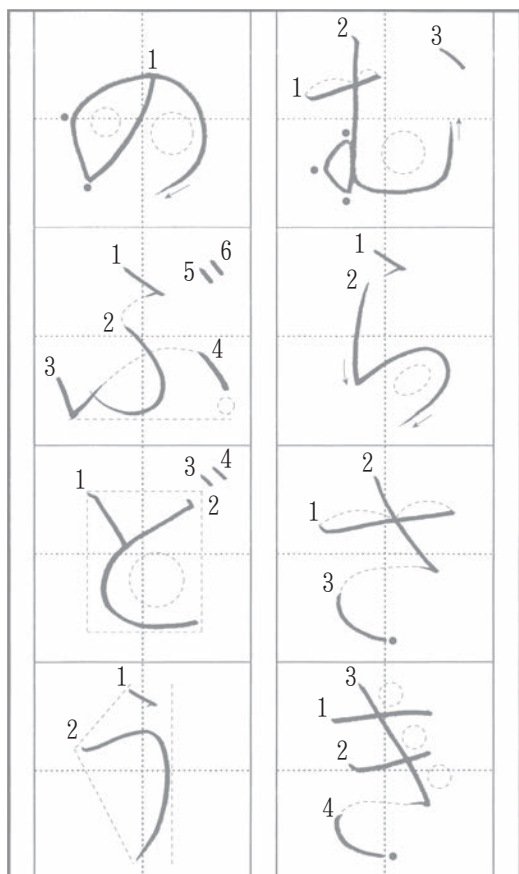
■ 新人から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

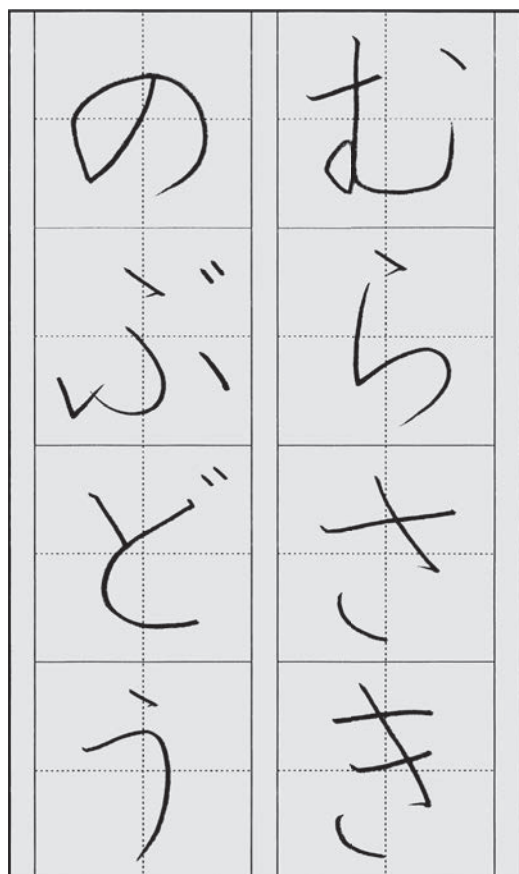


〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



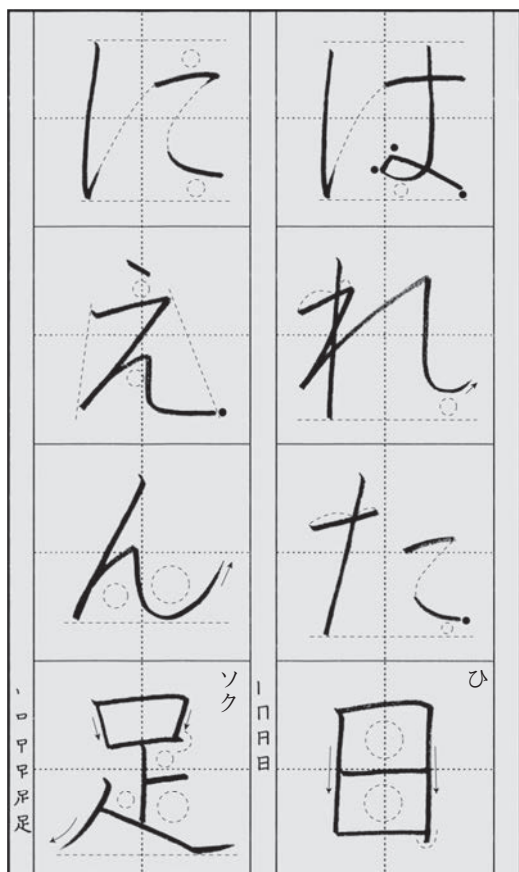
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



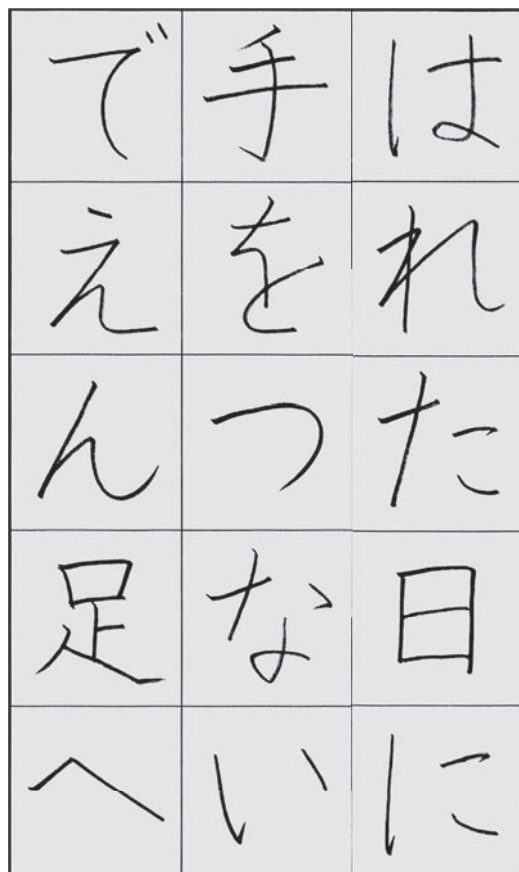
よ  
う  
年

幼年〜小三年まで  
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

|   |   |    |
|---|---|----|
| テ | 十 | とお |
| ス | 日 | か  |
| ト | 後 | ゴ  |
| ガ | に |    |

一十  
一日日  
イ後後後後後

新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| ガ | 語 | 十 |
| あ | の | 日 |
| り | テ | 後 |
| ま | ス | に |
| す | ト | 国 |

小二年

準初段以上

|   |   |     |
|---|---|-----|
| 受 | 午 | ゴ   |
| け | 前 | ゼン  |
| 取 | 中 | チュウ |
| る | に |     |

う  
ノルニ午  
ムナ前前前  
と  
一丁月取取

新入1級

|   |   |   |
|---|---|---|
| 受 | ど | 午 |
| け | く | 前 |
| 取 | 荷 | 中 |
| る | 物 | に |
| よ | を | と |

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小四年

|   |   |   |
|---|---|---|
| て | 式 | 試 |
| 参 | に | 合 |
| 加 | そ | の |
| す | ろ | 開 |
| る | っ | 会 |

準初段以上

新入1級

|   |   |
|---|---|
| 参 | 開 |
| 加 | 会 |
| す | 式 |
| る | に |

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

|   |   |   |
|---|---|---|
| だ | に | と |
| 地 | 入 | て |
| 下 | り | も |
| 鉄 | 組 | 複 |
| 道 | ん | 雑 |

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |
|---|---|
| 地 | 複 |
| 下 | 雑 |
| 鉄 | 入 |
| 道 | 組 |

小四年以上  
岡嶋桂川書



〈用具 自由(黒色に限る)〉

|   |   |
|---|---|
| 番 | 場 |
| 号 | 券 |
| 順 | 整 |
| 並 | 理 |

解説(よく見て習いましょう)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 並 | 理 | 入 |
| び | 番 | 場 |
| ま | 号 | 券 |
| し | 順 | の |
| た | に | 整 |

小六年

(全員)

|   |   |   |
|---|---|---|
| 時 | 電 | 集 |
| 刻 | 車 | 中 |
| 乱 | の | 豪 |
| れ | 運 | 兩 |
| る | 行 | で |

中二・三年 (行書)

|   |   |   |
|---|---|---|
| の | と | 鉢 |
| 目 | 絵 | 植 |
| に | を | え |
| 贈 | 敬 | の |
| る | 老 | 花 |

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

おおす か そう りゅう 書  
大須賀 桑 龍

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 水 | ふ | ゆ | 金 | 赤 |
| そ | わ | ら | 魚 | 色 |
| う | ふ | り | が | の |
| の |   |   |   |   |
| 中 |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 9月25日(必着)

習っていない漢字は  
ひらがなで書いてもよい。

▼小四年以上の課題

ふく おか しゅう せん 書  
福 岡 舟 泉

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 記 | 笑 | 級 | 名 | 修 |
| 念 | 顔 | 友 | 所 | 学 |
| 撮 | で | た | に | 旅 |
| 影 |   | ち | 立 | 行 |
|   |   | と | ち | で |
|   |   |   | 寄 | は |
|   |   |   | り |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |
|   |   |   |   |   |



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





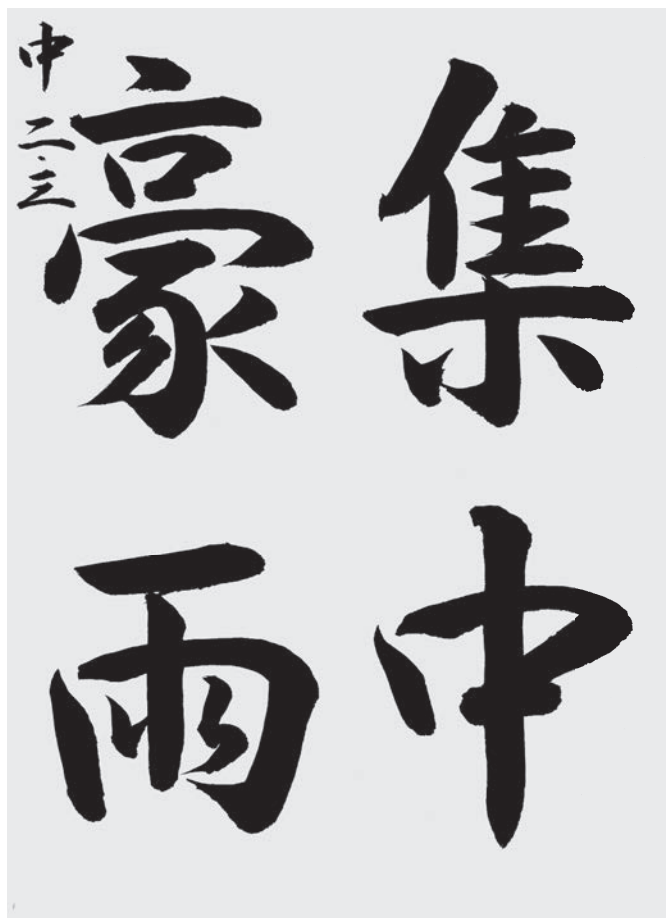
幼年／小二年  
玉樹小  
華書





小三、小五年

水野香竹書



※行書は線の連なりを大切に!

小六・中二・三年  
奥村暢之 書